



## 【厚生年金基金】

### 中途脱退者の移換現価率

### (基本プラスアルファ部分) について

標記について、平成22年4月1日以降は、予定利率3.2%を計算基礎としたものから予定利率2.25%を計算基礎としたものへ変更されます。

#### 1. 詳細

基本プラスアルファ部分の移換現価率は、予定利率2.25%を計算基礎としたものが企業年金連合会（以下「連合会」）規約の本則に規定されています。しかし、平成22年3月31日までは経過措置が適用され、予定利率3.2%を計算基礎としたもの（代行部分の移換現価率と同一）が用いられていました。

今般、経過措置が終了するため、連合会にて経過措置延長等も含め検討されたものの、平成22年4月1日以降は本則に基づいた移換現価率を適用することとする旨、信託協会より連合会に確認を得ました。

また、厚生年金の財政見通しの諸前提が見直されたことに伴い、厚生年金基金の財政計算等に用いる予定死亡率が改正されましたが、基本プラスアルファ部分の移換現価率については、今回のタイミングで死亡率の前提を変更しないとのことです。

なお、平成22年4月1日以降の代行部分の移換現価率については、[1月15日のPENSION NEWS](#)でご案内の通り、予定利率は4.1%、予定死亡率は厚生年金本体の財政検証の基礎率に準拠した率（第20回生命表）を計算基礎としたものに変更されています。

#### 2. 移換現価率変更に伴う影響

<<例>>昭和36年4月2日以降に生まれた男子[65歳支給開始世代]

年齢	基本プラスアルファ部分			代行部分		
	従来の現価率 (予定利率 3.2%)	新しい現価率 (予定利率 2.25%)	比率	従来の現価率 (予定利率 3.2%)	新しい現価率 (予定利率 4.1%)	比率
20歳	2.8614	4.7572	1.663	2.8614	1.8256	0.638
30歳	3.9406	5.9726	1.516	3.9406	2.7458	0.697
40歳	5.4392	7.5157	1.382	5.4392	4.1411	0.761
50歳	7.6098	9.8562	1.295	7.6098	6.3149	0.830
60歳	10.9989	12.6316	1.148	10.9989	9.9249	0.902

- ・基本プラスアルファ部分…予定利率引下げにより、移換現価率が増加
- ・代行部分…予定利率引上げにより、移換現価率が減少

以上



SUMITOMO TRUST

住友信託銀行